

# 平成30年度 学校評価アンケート【後期】の結果

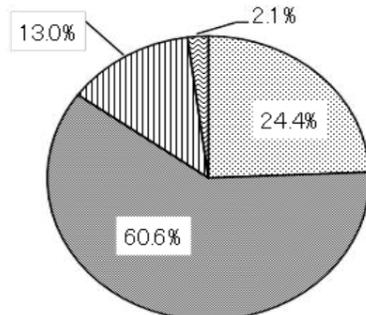
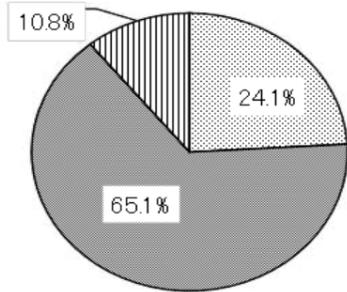
京都市立下京渉成小学校

本年度の後期の学校評価アンケート結果についてお知らせします。このアンケートの結果を活かし、今後も「子どもが明日の登校を楽しみにする学校」となるよう、さらに取り組んでいきたいと思ひます。ご家庭におかれましても、この機会に「家庭でもできること」について考えていただければと思ひます。

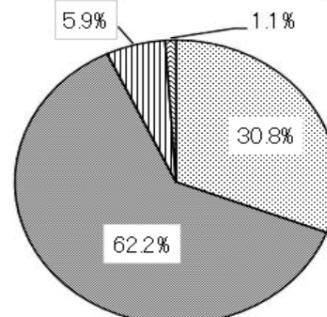
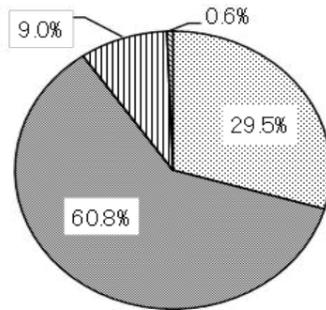
## 保護者アンケートの結果【前期】

## 保護者アンケートの結果【後期】

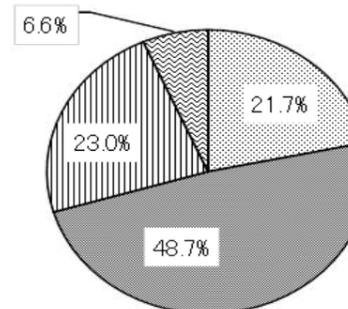
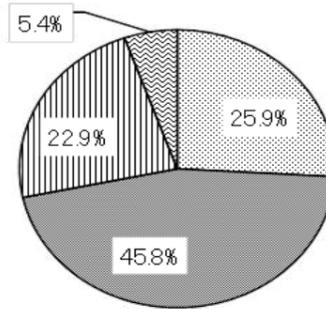
問1 先生や友だちの話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話していますか。



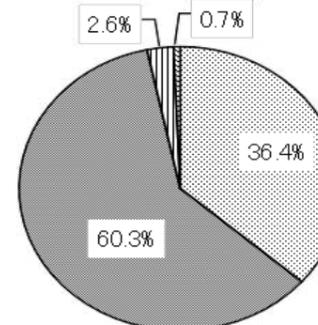
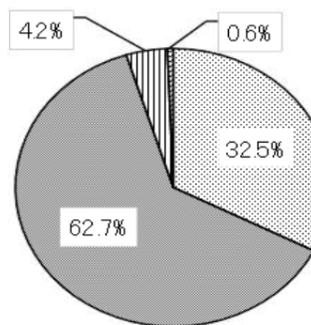
問2 学習、部活、委員会活動等いろいろなことにめあてをもって、努力していますか。



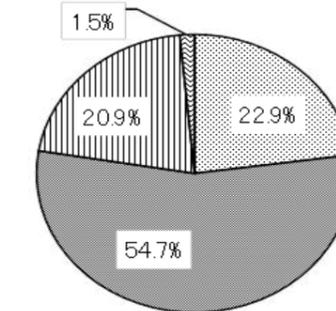
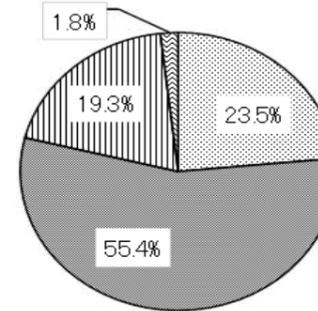
問3 図書室で本を借りるなど進んで読書に取り組んでいますか。



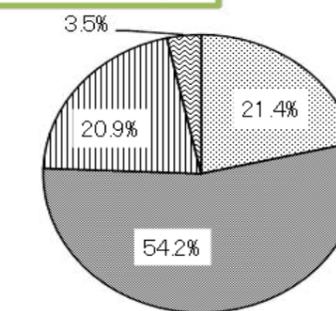
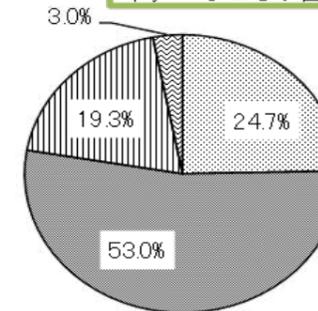
問4 自分や人を大切にする気持ちや態度が育っていますか。



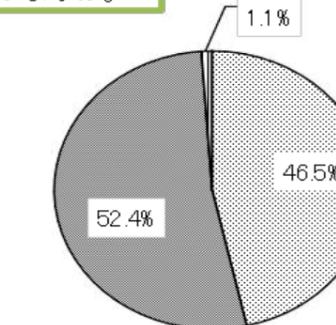
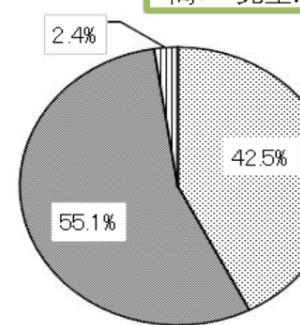
問5 基本的な生活習慣(歯磨き、早寝、早起き、掃除や身の回りの清潔など)が身についていますか。



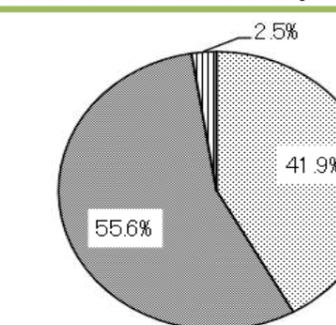
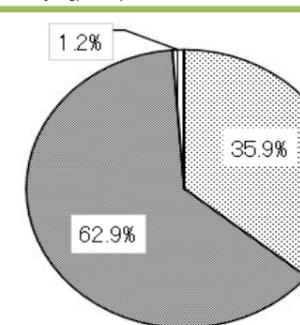
問6 子どもは自分から気持ちのよい挨拶をしていますか。



問7 先生は、わかりやすい授業をしていますか。



問8 学級は、友だちのがんばりを認め、励まし、助け合えるものになっていますか。



ご覧いただいた通り、前期と後期で大きな変化は見られませんが、以下に幾つかの考察を挙げたいと思ひます。  
 本校では、学校教育目標に『社会に貢献できる子の育成』を掲げ、学習や部活動、委員会活動、係活動などの活動を中心に、自分の役割を責任をもって果たし、人の役に立つという意味を見出す取組を進めています。子どもたちが将来をよりよく生きるための資質・能力の育成をねらい、授業の中に友だちとの交流や対話を取り入れるなど、国語科の授業研究をもとに各教科の授業改善に取り組んでいます。前期に引き続き後期にも、約99%のご家庭に授業がわかりやすいとお答えいただきました。授業中の生き生きと学ぶ子どもの姿からも、学習に対する高い意欲と充実感がうかがえます。さらに、部活動や委員会活動において、めあてをもって意欲的に活動する様子を感じていただいているようです。学習活動での友だちとの関わりの中で、自分や人を大切にする人権感覚も着実に育ってきていることが結果からうかがえます。  
 一方で、前期から引き続き約30%の子どもが、自分から進んで本を読むことができないという結果が見られました。これらの結果を大切に受け止め、「本好きの子どもを育てる」ために、今後も様々な取組を進めていきたいと思ひます。